

令和6年度第1回いわて県民情報交流センター（アイーナ）指定管理者選定・評価委員会  
〔議事録〕

1 日時 令和6年7月31日（水）13時30分～15時30分

2 場所 いわて県民情報交流センター8階 研修室811

3 進行

開会、挨拶（大内連携協働課長）、委員紹介、委員長及び副委員長互選により委員長は佐藤あすか委員、副委員長は三浦まり江委員に決定し、議事は佐藤委員長の進行により審議を行った。

4 議事

(1) 報告事項

ア 前回（令和4年度業務）評価への対応について【資料1】

イ 県及び指定管理者による自己評価（令和5年度業務）の結果について【資料2】

(2) 協議事項

令和5年度業務の評価の実施方法について【資料3-1、3-2、3-3】

…原案のとおり了承された。評価項目にアイーナ運営に係る収支を含めることについては次年度以降の検討事項とされた。

5 出席者

区分	所属	職名	氏名	備考
委員 (五十音順)	有限会社割烹旅館おぼない	若女将	大建 ももこ	
	一般社団法人岩手県建築士会盛岡支部	副支部長	勝部 敬次	
	岩手弁護士会	弁護士	佐藤 あすか	委員長
	一般財団法人北海道東北地域経済総合研究所	事務局長・主席研究員	千葉 幸治	
	認定NPO法人 a c c o m m o n	理事長	成田 礎野美	
	特定非営利活動法人 陸前高田まちづくり協働センター	理事長	三浦 まり江	副委員長
	公立大学法人岩手県立大学高等教育推進センター	教授	渡部 芳栄	
指定 管理者	統括グループ	統括責任者	佐藤 渉	
		維持管理業務 総括責任者	佐藤 正崇	
	運営グループ	運営業務総括責任者	澤田 良久	
		運営業務責任者	澁谷 雄介	
	維持管理グループ	維持管理業務責任者	田中 直樹	
	清掃グループ	清掃業務責任者	田中 義夫	
警備グループ	警備業務責任者	大坪 隆行		
事務局	岩手県環境生活部 若者女性協働推進室	連携協働課長	大内 玲子	
		主任主査	晴山 幸恵	
		主事	赤坂 光	
		主事	渡邊 大夢	
		会計年度任用職員	留守 ますみ	

6 傍聴者 0名

7 議事

### (1) 報告事項

#### ア 前回（令和4年度業務）評価への対応について【資料1】

（事務局から資料1について説明。指定管理者から評価への対応状況について説明）

〔渡部委員〕

令和5年9月に公表された評価に対し、令和5年度中の対応状況について半年で凄まじく対応されているというのが正直な感想だが、その前提となる目標や計画、18ページ以降の点検・評価に記載している基本協定、事業計画書は誰でも見ることができるのか。目標は5年間で一貫したもので毎年変わるものではないものか。

〔事務局〕

協定自体は指定管理の期間がワンクール5年間なので、5年間通しての目標となる。基本協定はホームページで皆さんが目に見えるような公表の仕方はしていない。

〔渡部委員〕

計画書も公表されていないものか。

〔事務局〕

公表はしていない。

〔渡部委員〕

指定管理者がすごいスピードで対応していると思ったので、県と指定管理者が常に共有しているものがあるのか確認した。

〔事務局〕

県と指定管理者において共有はしているが、公にはその内容を公表していない。

〔佐藤委員長〕

5ページ⑤の適切な施設運営の対応（取組）状況のところ、前回、建築士の武田委員から経年もあり大分劣化しているということで修繕について意見が出された点について、具体的な検討、相談内容を教えてほしい。

〔事務局〕

限られた予算のなかで安全を第一に利用者に危険が及ぶ恐れがあるものから修繕していく考え方がまず基本にある。例えば、会議室の壁紙が剥がれていても直接的にその壁自体が剥がれてきて利用者に危険が及ぶことは考えにくい。まずは利用者に危険が及ぶ恐れがあるところから予防保全工事をしている状況なので優先順位からいくと壁の修繕は優先度が低い状況。

〔指定管理者〕

工事について具体的な話をすると、ペンキの塗り替えを提案しているが、利用者が壁に張り紙をする際にテープで貼るので、直接貼れるような部材を検討しながら、お客様がより使いやすくなるよう相談している段階。

〔佐藤委員長〕

よく分かった。話自体は前に進んで検討段階には入っているということ。

〔勝部委員〕

評価の内容に、利用者の声の反映とあるが具体的な報告、反映は前回と同じ考えなのか。

**【佐藤委員長】**

固定の項目ではあるが県から説明をお願いしてもよいか。

**【勝部委員】**

利用者の意見はアイーナや県に報告があると思うが、利用者の声の内容が分からないとどう反映されているのか評価のしようがない。

**【事務局】**

資料10ページの6番、利用者の意見等への対応状況(2)に利用者からの苦情要望を記載している。全部ではないが利用者の声及びそれに対する対応状況を記載している。

## イ 県及び指定管理者による自己評価(令和5年度業務)の結果について【資料2】

(事務局から資料2関係について説明)

**【成田委員】**

限られた予算の中で施設を維持していくことは大変で、運営側も可能な限り自営で修繕し光熱費の削減のため温度管理含め調整しているとは思いますが、それでも9ページの利用状況や収支を見る限り、コロナ前の利用者数、利用料金に戻していくのは難しいと見受けられる。県としても、それを考慮して委託料をコロナ前の期間よりは増やしている状況ではあると思うが収支の差額等を比較してみると赤字の傾向にあることが分かるし、このままの状態を維持をしていくことは物価高騰などもあり、かなり厳しいのではないかと。節約以外の収入を増やす工夫を県としてどう考えているのか。

**【事務局】**

収入を確保していかなければいけないというところはおっしゃるとおりで、今後も引き続き安定的な運営を図っていくため、指定管理者の負担を軽減できるよう収入アップに向けた取組を指定管理者とともに、検討していきたいと考えている。

**【勝部委員】**

赤字決算について自己評価の反映はどの辺を見ればよろしいか。赤字決算の評価について、どの評価項目で加味すべきなのか、それとも我々の評価の範囲ではないということなのか教えていただきたい。

**【佐藤委員長】**

毎年評価項目の中には反映できる部分がない。一番大事な部分と言えば大事なところ。

**【勝部委員】**

お金をかければ良い対応ができて当然評価もあがる。

**【佐藤委員長】**

毎年評価委員会において評価を行う評価書には、収支が赤字か黒字か反映できる部分はない。

**【勝部委員】**

自己評価でも収支はあまり関係ないということなのか。

**[事務局]**

具体的に評価項目として設定していない。

**[佐藤委員長]**

コロナで利用者数が減ったことで収入も減っている。どこかで評価項目を設けることも今後の検討課題ではある。

**[勝部委員]**

予算あつてのサービスである。税金も投入されており、収支を考慮せずサービスが良くなったが赤字が続き税金を投入しているとなれば、そこは評価に値しない。評価委員、県どちらでやるべきことなのか分からないが、やはりそういったことも大切なのではないか。

**[佐藤委員長]**

関連して9ページの5収支の状況の支出にある維持管理費ですが、令和5年度から金額が増えているが維持管理費とは何の項目か。光熱水費は別に記載がある。コロナで大きく変動があったようには見受けられないが昨年度の金額が上がっている。

**[事務局]**

清掃や警備を含めた管理費。

**[佐藤委員長]**

人件費と光熱水費は別の項目である。清掃の備品などの経費か。

**[事務局]**

それらも入っている。

**[勝部委員]**

決算の報告は受けているのか。

**[事務局]**

報告は受けている。決算の中身を見ながら維持管理費について説明している。

**[佐藤委員長]**

備品関係が値上がりしたことで、令和5年度の金額が上がっているということか。

**[成田委員]**

修繕費が含まれているのでは。

**[事務局]**

修繕費は別に修繕費の項目がある。

**[佐藤委員長]**

指定管理者で分かるか。

**[勝部委員]**

指定管理者が決算書を作成したのではないのか。

**[指定管理者]**

収支は私どもで作成し、県に報告している。収支の資料に関しては県が作成したもので内訳について人件費と維持管理をどう分けて数字を出されたのかわからない。

**[勝部委員]**

決算書を県が編集しているということか。

**[指定管理者]**

どのように項目をわけているのか分からない。

**[事務局]**

清掃、警備に係る経費を維持管理費として計上し資料に載せている。

**[佐藤委員長]**

清掃や警備に係る費用が何かというと、おそらく清掃用具とかになるのか。

**[事務局]**

清掃、警備、環境衛生管理に関するもの。

**[指定管理者]**

維持管理の色々項目がある中の全部ではなく一部が維持管理費。清掃、警備の費用の項目の一部がこの維持管理の中に入っていると思われる。詳しい内訳までは分からない。

**[成田委員]**

今までより単価が上がったもの、清掃用具など購入されるなかで物価高の影響を感じることはないか。

**[指定管理者]**

薬剤、清掃の備品、掃除用具、私どもの制服など購入し計上したものが今回の維持管理費に入っているのではないだろうか。その他清掃業務、警備をするために必要な道具、備品類など全てのを維持管理費に全部集約し報告しているので、それを全てまとめた金額ではないかと推測している。

**[成田委員]**

私たちの団体でもクラフト関係がすごく金額が上がっているので、変化がある時は気をつけてチェックして欲しい。

**[勝部委員]**

資料にある数字について第三者に公表されるのであれば、県、指定管理者がお互いに分かっていないと正直どうなのと思うところがある。情報共有をしてどちらに聞いても回答できなければならない。その辺をしっかりとお願いしたい。

**[佐藤委員長]**

評価シートは県のホームページにも掲載されるのでしっかりとお願いしたい。

**[渡部委員]**

評価シートの18ページからに関しては、今後、審査委員が評価するときまでに細かい質問はさせていただけるのかどうか。そのような機会はあるか。

**[事務局]**

次の協議事項で評価の実施方法について説明する予定。評価をしていただく際に質問等の機会を個別にはあるが随時設けることとし、質問等がある場合は事務局までお寄せいただきたい。

**[大建委員]**

収入を増やすための取組として、8月3日に開催されるアイーナでの親子イベントをホームページで見たが、無料イベントではなく300円でも構わないので収入をアップさせ

るきっかけになれば一番良いのでは。普段見ることができないバックヤードツアーをやるのであればアドベンチャーとしてもっと盛り込んで無料ではなく少しでも金額をいただいたほうが良いのではと思う。にぎわい創出、岩手の幸せ、未来、寄り添って継続して繋がりなどを関連付けていくことで、例えば、お掃除の専門家と一緒に300円で「あなたは今日からお掃除のスペシャリストになれる」という学習会を開いて「アイーナの壁を勝部先生（建築士）と一緒にパテで埋めましょう」とか、そういうものを一緒にやっていくことでお互いWin-Winな関係が成立していくのでは。私たち使用する側も一生懸命綺麗に使っているし、スペシャリストから教えてもらえることは人生でもなかなか経験することがないので、「皆と一緒にアイーナも」というようなコンセプトにしていけないと、あれをやって差し上げたい、これもやって差し上げたい、どんどん一方的になっていくと絶対的にアイーナと岩手県が苦しくなるし、やってもらって当たり前というステージができ上がってしまうと、これから先を考えると厳しいのではと思う。

#### 【指定管理者】

ありがとうございます。参考にさせていただきます。公表はしていないが事業計画に基づいて県と打合わせをしながら、委託料の中でにぎわいを創出していくためのイベントや催事を行っている。今回のバックヤードツアーも委託料の中で、にぎわい創出していくための1つの催事。今後も県と打合せしながら有料、あるいは無料でにぎわい創出するのかという部分を詰めながら進めていければと思う。

#### 【勝部委員】

アイーナをよく利用するが特に図書館が好きで行く。指定管理者の所管が違うとのことだが、やはり県民は「アイーナ＝県立図書館」というイメージが一番強いと思う。「指定管理者が違う」ではなく、この強力な施設、コンテンツである県立図書館と連携したアイーナ全体のイベントや協力連携することで、たくさんのお客様に来ていただけるようぜひ考慮していただきたい。

#### 【事務局】

無料イベント等で多くの人に集ってもらい、にぎわいを創出する。それを有料化して収入に結びつけるという点、それぞれ必要であると思う。赤字傾向であることも踏まえバランスを考えていきたいと思う。

みんなでお掃除をするアイデアはすごく面白いと思ったし子どもがやったら喜ぶ。例えば、学校の社会科見学の時にやってみるなど管理や監督も大変だと思うが子どもは喜びそうだと思った。県としての考えではなく、あくまでも一個人としての意見である。

#### 【指定管理者】

有料ではないが、コロナ前は1年に1回お掃除体験として清掃グループが中心となり業務用クリーナーを動かす体験会を実施して大評判だったが無料のイベントであった。

#### 【成田委員】

有料でも参加したかもしれない。クレーンにも乗りたいくらい。やってみたいと思う子どもは本当に多い。子どもがやりたいことに親はお金を出すと思うのでぜひご検討いただきたい。

## (2) 協議事項

### 令和5年度の評価の実施方法について【資料3-1、3-2、3-3】

(事務局から資料3-1、3-2、3-3について説明)

#### [渡部委員]

51 ページの評価基準の評価5判断基準にある計画を上回るという計画とはどれを指すのか、どこを見ればよいのか教えて欲しい。

#### [事務局]

18 ページの業務点検・評価結果で示している。評価項目、評価指標に基本協定・要求水準等、事業計画書・提案書等という欄があり、それぞれ指定管理業務に要求している水準、指定管理の中で行う取組の事業計画を記載している。それに対して実際に取り組んだ内容の表になるので、評価指標についてはこの基本協定・要求水準、事業計画書の欄に記載したものを参考にさせていただきたい。

#### [勝部委員]

渡部委員もおっしゃるように、どの計画か分からないと評価できない。

#### [事務局]

18 ページの事業計画書の欄に記載しているのが事業計画で、基本的にこの表を参考として評価するもの。評価指標の左側に記載している基本協定・要求水準等が県から指定管理者への要求を記載し、事業計画書・提案書等の欄には指定管理者が行う事業計画の内容を記載している。それに対する評価を右側の方に記載しているので参考にさせていただき、最終的に評価していただくことになる。

#### [勝部委員]

ひとつおとり関係資料が送付されるのか。これが全てか。

#### [事務局]

これが全てで、令和5年度の業務・計画に対する実績をもとに評価した内容となっている。

#### [佐藤委員長]

18 ページの業務点検・評価と54 ページの管理運営評価シートの繋がりについて、これまで自分が評価するときは54 ページの事業計画と指定管理者の実績について読み、もう少し細かく知りたいときのみ18 ページ以下の詳細を参考に見ていた。18 ページ以下の分量のあるものを分かりやすくしたものが54 ページ以下の評価シートということか。

#### [事務局]

18 ページにある事業計画、要求水準を分かりやすくしたものが54 ページの評価シートに記載している。

#### [佐藤委員長]

完全に対応関係にあるかというところではない。

#### [事務局]

ある程度ピックアップして評価シートを作成しており、評価シートに基づき評価していただく。評価の参考として18 ページからの資料がある。先ほど委員長がおっしゃったとお

りの評価の仕方での評価をお願いしたい。

**[佐藤委員長]**

結構分かりにくいと思う。2年くらい自分が何を評価しているのか手さぐりだった。

**[成田委員]**

どちらも令和5年度業務についての表であって、54ページの管理運営評価シートには指定管理者の自己評価がまだ載っていないというもの。

**[事務局]**

そのとおり。

**[佐藤委員長]**

次の委員会が開催される前に、委員がそれぞれ評価をするときに送っていただく資料には指定管理者の評価が記載されているものと、18ページ以下の事業計画、要求水準についての詳しい内容を照らし合わせ評価をする。

**[事務局]**

そのとおり。

**[勝部委員]**

いつからいつまでの期間を評価するのか。

**[事務局]**

令和5年度なので4月1日から3月31まで。

**[佐藤委員長]**

委員は1～5点で評価しコメントする。コメントが同じような内容の評価、アドバイスであれば最終的にその年の評価として集約され、事務局が最終的な評価のたたき台を作る。次回、委員全員のコメントが一覧できるようにして、例えば、53ページ評価項目①快適な利用環境の創出についての評価点数とコメント、アドバイスが一覧できる表をもとに指定管理者や県に対し質問し、本当にこの数字で良いのか最終的に評価し直しながら、次回の委員会ではその数値とコメントを集約していくような作業になる。持ち帰ってやる作業量が多いので大変だが頑張っていきましょう。たくさんコメントを書いていただくと最終的にホームページで公表する文章が充実したものになるのかなと思う。

**[勝部委員]**

予算についての評価項目はどうするのか。

**[成田委員]**

予算についての評価項目を入れるのであれば評価前である今入れたほうが良い。

**[勝部委員]**

そこには収支も足していただくことになる。

**[佐藤委員長]**

18ページ以下の冊子にも予算を反映したところはない。

**[事務局]**

収支についての評価項目はない。

**[勝部委員]**

評価しなくても良いのであれば別によいが。我々の評価する内容に何を求めているかと

いうところ。予算的なところは求めていないというスタンスで設定されている委員会であれば、やむを得ないかなと思う。

**[佐藤委員長]**

たびたび予算の話は出てくるが、それを反映する場所がないだけで毎年、予算についての話はできるが評価する項目についての質問は今回初めてである。今年は難しいかもしれないが次年度以降、評価をすべきかどうかも含めて検討していただく。

**[事務局]**

収支の点については非常に重要であると思っているが、例えば評価項目に入れたときに赤字だから評価が低くなるとか、県がもっと予算を出すなど、他の評価項目と同列で評価ができるのか疑問ではある。確かに重要な観点ではあると思っているが今後のあり方については他の施設を参考にしながら考えてみたいと思っている。ただ、委員から意見があると思うので、今回は68ページの総合評価に予算収支に関しての意見をお願いできればと思う。

**[千葉委員]**

指定管理者制度が始まって約20年が経過している。制度開始当時は、デフレでどんどん物価全体が安くなり、指定管理者がある程度やりくりできるのが通常であった。しかしながら、おそらくここ1年くらいで急に人件費が上がり、エネルギー代が上がるなど、かつての環境と大分変わっていると思う。おそらく昔は予算や収支の評価は無くても大丈夫だったのかもしれないが、環境が変わっていると思う。やはり何らかの評価が必要だと思う。

おっしゃるとおり赤字だから駄目で、黒字だから良いということではない。その赤字の中身を分析する必要があると思っている、その赤字が一時的なものなのかそれとも恒常的なものなのか。細かい話で言えば費用における利用単価によるものなのかそれとも費用における利用量によるものなのか。単価であれば典型的なのが電気代。いくら電氣量を削減しても単価が上がってしまえば相殺されてしまう。単価なのかどうなのかというところ。あとは、これが1つ重要なことだが、予見できるものだったか予見できなかったことなのか。予見できなかったことだから赤字ということであればしょうがないということになると思うが、予見できたのにできてないってことであれば、それは詰めが甘いということになり、マイナスの評価になると思う。その辺もおそらくポイントだと思っている。赤字の要因がずっと続くようなものなのか、それとも一時的に何か経費がかかったことなのかという、そこまで突っ込んでデータを提供いただかないと、おそらく判断できないと思う。そこまで踏み込んだデータを提供いただいて、スキームと体制がどうなのかというようなところをちゃんとはっきりさせれば、また次に生かすことができると思う。一言でいえば、事業の継続性がポイントだろう。

**[事務局]**

貴重な意見ありがとうございます。物価、人件費が上がっていくと思うので、県としても今後について検討する要素がたくさんあると思っている。

**[佐藤委員長]**

指定管理業務の収支の評価については、今回は総合評価のコメント欄に記載し、評価対

象にすべきかどうかについては次年度以降に検討する。評価の仕方は事務局案のとおり進めていく。

### (3) その他

#### [勝部委員]

指定管理者についての概要、紹介、実績の情報が欲しい。今後、選定となれば指定管理者の経緯も確認したい。今回は評価だが選定となると予算の執行も選定の大きな項目の一つになる。

#### [佐藤委員長]

指定管理者から自己紹介をお願いします。

#### [指定管理者]

NTTファシリティーズは、維持管理、設計、建築業務を主に行っている。NTT各社の設計、施工を行っていたが、一般の会社の設計、施工、維持管理も手がけていることからアイーナ指定管理者では、統括という形で結グループに参画している。

#### [成田委員]

8ページに指定管理者の結グループの内訳、17ページに組織図がある。選定に関わった委員には詳細資料があるが、年度始めの第1回目では分かりにくい。

#### [勝部委員]

各企業がグループで指定管理者になっているということか。

#### [事務局]

5社で構成された指定管理者、結グループとして管理運営をしている。17ページの組織図にあるように、運営、維持管理、清掃業務、警備業務など各社が担当し、その代表者の方々が今日の委員会に出席している。

#### [勝部委員]

正職員34名が常駐し維持管理、運営にあたっているのか。

#### [指定管理者]

常駐しているのは各業務の責任者。運営業務は株式会社めんこいエンタープライズ、維持管理業務は鹿島建物総合管理株式会社、清掃業務は一般社団法人岩手県ビルメンテナンス協会、警備業務は岩手県ビル管理事業協同組合が行っている。

#### [勝部委員]

当初から結グループが指定管理者として選定されている。その選定の経緯、過去どんな感じだったのか教えて欲しい。

#### [事務局]

選定を行う際は、募集要項で業務・要求水準等を委員会に諮り決定している。公募し複数の団体から応募いただいた年もあるが、第5期、第6期は1者のみの応募だった。現場説明会など広報周知はしているが、大規模な施設であることから新しい方が参入するのは難しい面もあると考えている。1者のみの応募ではあったが、委員会において応募団体の提案内容について評価いただく項目に、適切な業務の遂行が十分にできる体制にあることやこれまでのスムーズな運営など、そういったところの評価も適切であると審査いただいて、結果的に同じグループにずっとお願いしてきているという経緯がある。

**〔佐藤委員長〕**

昨年の選定のときにも2期連続で1者の応募で競争がないのは良くない。次回の選定までにはハードルを下げるとか、参入しやすい工夫をするべきではないか県でも検討して欲しいという意見が多くあった。

**〔勝部委員〕**

いつの間にか募集が行われ、いつの間にか選定が行われて今までどおりというのはよくあること。一生懸命頑張っているとは思いますが競争がないのは向上する機会が失われるのも事実かもしれない。これだけの大きな施設なのでハードルを下げるとかは別として、しっかり公告して、広く募集をした結果が1者だけであれば、それは仕方がない。オープンに公募していただきたい。

**〔渡部委員〕**

指定管理者制度について理解しきれていない。私が所属している岩手県立大学は地方独立行政法人。法律によりサービスを効果的効率的に提供すると定められている。効率的という言葉があるように収支も問われる。指定管理者がどこまで求められているのか設定が分からない。類似の制度との比較で構わないので別途提示していただければと思う。関連して、評価委員会の根拠となる条例、要綱を示していただくことで我々に何を求めているのかが分かる。

**〔事務局〕**

大変失礼いたしました。改めて提供させていただく。

**〔佐藤委員長〕**

本日は以上をもって終了する。

**8 閉会**